

令和5年度事業報告書

〔 令和 5年 4月 1日から
令和 6年 3月 31日まで 〕

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの当財団の令和5年度事業概況について、以下のとおりご報告申し上げます。

事業概況

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業及び交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

令和5年度は、以下のとおり各事業を実施いたしました。

I 事業

1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の収集、展示、解説及び案内等を通じて、多くの方々に地下鉄に関する知識を得ていただき、理解を深めていただくことを目的に、地下鉄博物館の管理・運営を行いました。

特別展や各種イベントを開催しながら一年間運営した結果、入館者数については前年度より24千人多い151千人（19.2%増）となりました。

(1) 特別展の開催

ア「懐かしの営団地下鉄Sマーク展」

(令和5年6月6日から9月3日まで)

営団地下鉄（正式名称：帝都高速度交通営団）で使用されたSマークは、英語で地下鉄を意味するサブウェイ（SUBWAY）の頭文字をもとにデザインされ、1960（昭和35）年に同団の紋章として制定されました。

それ以来、2004（平成16）年の東京メトロ（正式名称：東京地下鉄株式会社）設立までの長きにわたり、営団地下鉄が標榜していた交通機関としての要件である「安全（SAFETY）」・「正確（SECURITY）」・「迅速（SPEED）」、さらには「サービス（SERVICE）」を表すシンボルとして時代を駆け抜けました。

本特別展では、今ではほとんど見る機会のないSマークに焦点を当て、貴重な収蔵品、懐かしの写真の数々を公開しました。

イ「丸ノ内線開通70周年展 ～建設編～」

(令和5年12月5日から令和6年3月10日まで)

丸ノ内線は、戦後初の地下鉄として建設された路線であり、当時の営団地下鉄（正式名称：帝都高速度交通営団）として初の新線建設でした。戦後復興の象徴的な事業として、私鉄などが集まる山手線のターミナル駅と都心のビジネスエリアを結ぶ重要な路線であり、将来予想されていた地上交通の混雑に備えるという重要な役割を担い建設されました。しかし丸ノ内線の建設は、戦後復興期の経済の混乱、建築資材の不足、都心部での難工事など、さまざまな条件が重なり、簡単なものではありませんでした。

本特別展では、丸ノ内線70年の歴史の中から「建設」の部分にスポットをあて、戦後初の地下鉄建設を行った当時の建設方法、難工事が行われた際の特殊な工法などについて、写真パネルや関連する実物資料により紹介しました。

また開催期間中に関連イベントとして、営団地下鉄OBの久多羅木吉治氏による講演会を実施し、丸ノ内線にまつわる様々な話題についてお話ししていただきました。

(2) イベントの実施

節目の期間を捉え、硬券きっぷ入缺実演会、重要文化財車両の特別公開、イメージキャラクターとの撮影会、期間内特別映画上映等、さまざまなイベントを実施しました。

特に年間を通してホール内において小物（「オリジナル小物入れ」、「マイエコバッグ」、「お絵描き風鈴」、「ペーパークラフト」）を工作していただく体験イベントについては、ファミリー層を中心とした多くのお客様が参加され、楽しんでいかれました。

(3) 教育実習活動の実施

9月7日より一週間、5名の大学生を対象に学芸員資格取得のための博物館実習を実施しました。

期間中、実習生に歴史コーナーの4種類の展示物をお客様に解説してもらい、また「副都心線開通15周年記念」というテーマでパネルを作成してもらいました。

(4) 地下鉄関連資料の収集、保管及び貸し出し

地下鉄に関する各種資料、写真等を東京メトロ・営団地下鉄退職者の会（地下鉄OB会）会報に記事掲載をするなどにより、継続的に収集、整理、保存するとともに、データベース化した貴重な資料を「メトロアーカイブアルバム」で公開し、それによりテレビ局、新聞社、雑誌社等メディアからの問い合わせを受け、資料を貸し出しました。

(5) 展示物及び施設の更新、改良等

当初より予定していたものに加え、期中に必要なが生じたものを併せ、以下の更新・改良工事等を行いました。

- ・売店のPOSレジ及びレジ台の更新
- ・プレイランドコーナーQ&Aコーナーのパソコン更新
- ・館内照明・非常灯LED化工事
- ・千代田線シミュレータ動揺装置改良工事
- ・非常口誘導灯修繕工事
- ・空冷チラー部品交換工事
- ・空調機オーバーホール工事
- ・その他（パノラマステージ、ポスターパネル、天井吊りサイン、エントランスドア改修工事等）

(6) その他の取り組み

同業他館と連携を図っていくことを目的に、「東武博物館」、「電車とバスの博物館（東急）」、「ロマンスカーミュージアム（小田急）」及び「京王れーるランド」の同業4館と、管理監督者を中心とした連絡会及び係員を中心としたワーキングを年間2回ずつ実施し、各館の近況や合同の取り組み等について、報告・確認しました。

本年度も多くのお客様にご来館いただけるよう、ホームページ、SNS、駅構内や車両内に掲出・設置したポスターや看板、携帯サイト等の各種媒体を通じて、博物館のPRや特別展・イベント開催の告知等を行いました。

2 交通文化事業

さまざまなイベントや展示等を通じて、多くの方々に文化的で豊かな日々を提供することを目的に、以下の事業を実施しました。

(1) メトロコンサートの開催

音楽文化の普及を図るため毎年度開催している同コンサートについては、リアル（対面）とオンライン（非対面）の相乗効果が得られるよう、駅構内での公演、小ホールでの公演、小ホール公演のプログラム＋別途2曲を収録した動画のオンライン上での配信

の3つを連動させ、次のとおり開催しました。

【駅構内での公演】

	開催日	コンサートタイトル及び出演者	来場者数
渋谷 駅 構 内	R5.7.7	第27回 ステーションコンサート in 渋谷 「弦楽四重奏」 出演者：『Lupinus Quartet』	435人
	R5.12.16	第28回 ステーションコンサート in 渋谷 「弦楽四重奏」 出演者：『上野の森クァルテット』	283人
	H5.12.17	第29回 ステーションコンサート in 渋谷 「サクソフォン五重奏」 出演者：『Five by Five』	343人

【ホールでの公演】（450人のお客様をご招待）

開催日：令和5年9月30日

場所：北区滝野川会館 大ホール もみじ

タイトル：～華やかに、心安らぐアンサンブル～

演奏内容：弦楽四重奏

出演：『QUARTET LILY』

来場者：338人（応募者 5,057人）

【オンライン配信】

配信日：令和5年12月13日から

タイトル：～華やかに、心安らぐアンサンブル～

演奏内容：弦楽四重奏

出演：『QUARTET LILY』

視聴回数：2,545回

(2) メトロポリス・クラシックスコンサートの開催

気軽にクラシック音楽に触れていただくため、プロのオーケストラによる本格的なコンサートに2,000人のお客様をご招待し、次のとおり開催しました。

・第18回メトロポリス・クラシックスコンサート

募集期間：令和5年8月10日から9月25日まで

開催日：令和5年11月3日

場所：東京芸術劇場

テーマ：「ドイツ ～オーケストラで巡る音楽の森～」

出演：東京都交響楽団ほか

来場者：1,781人（応募者36,273人）

(3) 音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）の開催

福祉活動及び音楽文化の振興に寄与するため、都内及び近郊の福祉施設、病院、学校等において行っている「音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）」を、次のとおり9か所で開催しました。

またこれらの開催と併行して、無観客状況下での演奏を収録したDVDを23か所の施設に配付し、本コンサートのPRを行いました。

回数	開催日	施設名及び出演者	来場者
124	R5.5.23 新規施設	社会福祉法人聖風会 特別養護老人ホーム 千住桜花苑 (足立区) 出演者：ラ・スペランツァ	68人
125	R5.6.9 新規施設	社会福祉法人あそか会 特別養護老人ホーム あそか園 (江東区) 出演者：アンサンブル・エルパ	75人
126	R5.8.30 新規施設	東京都立府中療育センター (府中市) 出演者：東京都交響楽団	139人
127	R5.9.19 新規施設	社会福祉法人仁生社 東新小岩在宅サービスセンター (葛飾区) 出演者：ラ・スペランツァ	40人
128	R5.10.10	社会福祉法人奉優会 港区立特別養護老人ホーム 白金の森 (港区) 出演者：アンサンブル・エルパ	83人
129	R5.10.26 新規施設	社会福祉法人聖風会 特別養護老人ホーム ゆうあいの郷 六月 (足立区) 出演者：東京都交響楽団	107人
130	R5.12.21	東京都立水元小合学園 (葛飾区) 出演者：東京都交響楽団	431人
131	R6.1.23	社会福祉法人あそか会 特別養護老人ホーム 江東ホーム (江東区) 出演者：アンサンブル・エルパ	80人
132	R6.3.13 新規施設	東京都立城東特別支援学校 (江東区) 出演者：東京都交響楽団	160人

(4) メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集し、その中から優秀作品等を選び展示する「メトロ文化展」を、次のとおり開催しました。

ア 児童絵画の部

地下鉄に関する知識や興味を持っていただけるように、小学生を対象に安全やマナー等に関する絵画作品を募集した結果、5, 330点の応募がありました。

応募作品の中から優秀作品（特選・入選・佳作）300点及び奨励賞作品300点を選び、次のとおり発表しました。

・第41回メトロ児童絵画展（募集期間：令和5年7月3日から9月8日まで）

一次展示：優秀作品300点を三越前駅コンコースに展示

（令和5年10月13日から18日まで）

二次展示：奨励賞作品300点を三越前駅コンコースに展示

（令和5年10月20日から23日まで）

特別展示：特選作品30点を地下鉄博物館に展示

（令和5年11月7日から19日まで）

審査員：大石法枝氏（新象作家協会委員）

小野孝一氏（現代童画会常任委員）

川内 悟氏（公益社団法人二科会名誉理事）

イ 写真の部

撮影テクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などを撮影する喜びを体験していただくため、専門家による「メトロ写真教室」を、次のとおり2回開催しました。

また後日、当日撮影された写真を当財団ホームページにおいて発表しました。

・第52回メトロ写真教室（講義及び撮影）

開催日：令和5年5月20日

場所：小石川後樂園

参加者：12人（応募者48人（定員20人））

講師：中谷吉隆氏（公益社団法人日本写真家協会名誉会員）

作品発表：9点の作品を当財団ホームページに掲載

（令和5年7月14日から27日まで）

・第53回メトロ写真教室（講義及び撮影）

開催日：令和5年10月29日

場所：浜離宮恩賜庭園

参加者：17人（応募者138人（定員20人））

講師：中谷吉隆氏（公益社団法人日本写真家協会名誉会員）

作品発表：16点の作品を当財団ホームページに掲載

（令和5年12月26日から令和6年1月8日まで）

ウ 文学の部

電車内で文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、“東京で感じるあなたの心”をテーマにした“詩”の募集を春と秋の2回行い、応募作品の中から優秀作品6編を選び、次のとおり電車内で発表しました。

また同6作品に加え、別途選んだ入選作品20編を、当財団ホームページにおいて発表しました。

・第37回メトロ文学館（募集期間：令和5年4月1日から5月31日まで）

応募数：457編（319人）

審査員：白石公子氏（詩人、エッセイスト）

作品発表：優秀作品6編を電車内の中吊りポスターに掲出

（令和5年8月1日から10月31日まで）

優秀作品6編及び入選作品20編を当財団ホームページに掲載

（令和5年8月1日から31日まで）

・第38回メトロ文学館（募集期間：令和5年10月1日から11月30日まで）

応募数：196編（100人）

審査員：同上

作品発表：優秀作品6編を電車内の中吊りポスターに掲出

（令和6年2月1日から4月30日まで）

優秀作品6編及び入選作品20編を当財団ホームページに掲載

（令和6年2月1日から26日まで）

（5）沿線地域文化の紹介

地下鉄沿線の地域文化の振興や伝承支援に寄与するため、沿線地域の文化、歴史、芸術、自然、行事等を、当財団のホームページ及び「Echika 池袋ギャラリー」において、次のとおり紹介しました。

ア 江東区

「いきいき TOKYO 夢 KOTO-KU」「いきいき TOKYO 夢職人」として紹介

- ・「Echika 池袋ギャラリー」での展示（令和5年6月1日から29日まで）
- ・財団ホームページへの掲載（令和5年6月1日から）

イ 板橋区

「いきいき TOKYO 夢 ITABASHI-KU」「いきいき TOKYO 夢職人」として紹介

- ・「Echika 池袋ギャラリー」での展示（令和6年2月1日から28日まで）
- ・財団ホームページへの掲載（令和6年2月1日から）

また、江戸の文化を今に伝える伝統工芸職人技の実演会を、次のとおり初めて駅構内にて開催しました。

開催日：令和5年9月9日

場所：東京メトロ日比谷線銀座駅構内

職人：江戸すだれ 田中耕太郎氏（台東区）

(6) メトロ歴史教室の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、専門家による「メトロ歴史教室」を、次のとおり2回開催しました。

ア 第44回メトロ歴史教室（講義及び探訪）

開催日：令和5年11月4日

場所：馬喰町・人形町界隈

参加者：13人（応募者89人（定員20人））

講師：山田 徹氏（大学講師：地理学・地誌学専門）

イ 第45回メトロ歴史教室（講義及び探訪）

開催日：令和5年11月11日

場所：同上

参加者：15人（応募者115人（定員20人））

講師：同上

(7) Echika 池袋ギャラリーの管理運営

駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に寄与するために設置された「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行いました。

展示については地元の豊島区と分担して行い、当財団については、次のとおり展示しました。

展 示 期 間	展 示 内 容
R5.6.1～29	江東区の紹介 (伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等)
R5.8.1～30	江戸東京博物館企画 【テーマ：関東大震災から100年 『昭和大東京百図絵』で振り返る帝都復興の時代】 ○展示趣旨 小泉癸巳男の『昭和大東京百図絵』シリーズの中から、帝都復興期の景色を描いた作品を紹介 ○展示作品 版画、頒布画
R5.12.29 ～R6.1.30	江戸東京博物館企画 【テーマ：日本近代建築の父 ジョサイア・コンドル ～失われた建築作品をたどって～】 ○展示趣旨 明治以後の日本建築界の基礎を築いたジョサイア・コンドルの代表的な建築作品を紹介する。 ○展示作品 写真、絵葉書
R6.2.1～28	板橋区の紹介 (伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等)

(8) パブリックアートの設置・管理

芸術文化の振興に寄与し、人々の心に潤いを与えるため、これまで6駅の構内に設置した「パブリックアート」7作品の維持管理を行ったほか、5月に銀座線渋谷駅、7月に日比谷線虎ノ門ヒルズ駅構内に、それぞれ新たな作品を設置しました。

また、日比谷線銀座駅コンコースに設置してある「メトロ銀座ギャラリー」において、若手芸術家の作品を中心に、次のとおり展示しました。

展 示 期 間	展 示 者	展 示 内 容
R4.12.5 ～R5.4.15	(社) 日本美術家 連盟関係作家	展示会名：「METRO ART PASSAGE」 ○展示内容 9名の作品を3か所のエリアに3名ずつ3 期に分けて展示
R5.4.19～7.19	東京藝術大学	展示会名：「藝大 Art Journey」 ○展示内容 令和4年度「東京藝術大学 卒業・修了作 品展」の中から選ばれた10名の優秀作品 を3か所のエリアに3期に分けて展示
R5.7.23～11.23	武蔵野美術大学	展示会名：「移動する視点、通路の彫刻」 ○展示内容 3名の作品を3か所のエリアに展示
R5.12.8～20	女子美術大学	展示会名：「JOSHIBI at METRO」 ○展示内容 4名の学生が共同で制作した作品を展示
R5.12.25 ～R6.3.2	(社) 日本美術家 連盟関係作家	展示会名：「ART PASSAGE TOKYO METRO」 ○展示内容 4名の作品を3か所のエリアに2期に分け て展示
R6.3.5～4.19	文化学園大学	展示会名：「BUNKA×METRO」 ○展示内容 7名の作品を3か所のエリアに2期に分け て展示

3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図り、併せて地下鉄に対する親しみを深めていただくことを目的に、以下の事業を実施しました。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道徳宣伝用マナーポスターを制作し、毎月東京メトロの全駅及び全電車内に掲出しました。

5年度は、「ありがとう グッドマナー」をスローガンとしたもので、誰にでも受け入れていただけるような、そっと背中を押して良いマナーへと促すメッセージと、記憶に残るビジュアルを掛け合わせて展開していくポスターとしました。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配布

小学生を対象として、交通マナー、地下鉄の歴史、役割、安全への取組み等を解説した小冊子「地下鉄のはなし」の在庫調査を5月に実施し、新たに5万部を増刷して7月に地下鉄博物館及び東京メトロの主要駅において配布しました。

(3) 鉄道教室の開催

交通マナーや地下鉄に関する知識を深めていただくため、当財団のホームページで小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、駅施設の見学及び駅業務関係備品の操作体験、マナーセミナー等を行う「鉄道教室」を、次のとおり開催しました。

・第23回 鉄道教室（令和5年12月9日開催）

場 所：東西線妙典駅

応募者 346人

参加者 16人（定員10組20人）

内 容：各種説明

駅員の業務、制服、制帽等

駅構内見学

ホーム、寝室、止水板等

セミナー

鉄道マナーセミナー

操作体験

マジックハンド、合図灯、切符への入鋏等

質疑応答

駅係員との交流

(4) 啓発用グッズ類の配布

交通道徳宣伝用啓発グッズを制作し、各種イベント参加者等に配布しました。

II 庶務

1 理事会

(1) 令和5年度第1回（令和5年6月1日開催）

ア 「令和4年度事業報告及び計算書類の承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「退職慰労金の支給の廃止及び役員報酬の見直しに関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「定時評議員会の招集に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」報告がありました。

(2) 令和5年度第2回（令和5年6月19日開催）

ア 「業務執行理事の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「理事長及び常務理事の選定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「業務執行理事の業務分担に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

エ 「役員報酬に関する規則に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

オ 「役員報酬に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

カ 「顧問の委嘱に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「定時評議員会の決議内容について」報告がありました。

(3) 令和5年度第3回（令和6年3月7日開催）

ア 「令和6年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「会長及び業務執行理事の職務執行状況について」報告がありました。

2 評議員会

(1) 令和5年度定時評議員会（令和5年6月19日開催）

ア 「令和4年度事業報告及び計算書類の承認に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「理事の選任に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の改正に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「理事会の決議内容について」報告がありました。

3 官庁事項

内閣府への届出等事項は、次のとおりであります。

- (1) 令和5年6月30日 ・ 令和4年度事業報告等提出
・ 理事等変更届出
- (2) 令和5年11月20日 ・ 令和4年度事業報告修正
- (3) 令和6年3月7日 ・ 令和6年度事業計画等提出

4 登記

今期における登記事項は、次のとおりであります。

- (1) 令和5年6月19日
 - ア 重任登記
小林秀徳理事
 - イ 就任登記
甲斐義朗理事

5 役員

今期末における役員は、次のとおりであります。

会 長 (代表理事)	奥 義 光
理 事 長	甲 斐 義 朗
専務理事	野 俣 光 孝
常務理事	小 林 秀 徳
常務理事	大 谷 泰 彦
理 事	内 田 喜 恵
理 事	小 野 孝 一
理 事	白 石 公 子
理 事	鈴 木 嵯 峨 子
理 事	中 谷 吉 隆
監 事	吉 田 茂
監 事	鈴 木 信 行

(理事 10人、監事 2人)

6 評議員

今期末における評議員は、次のとおりであります。

大井康弘、實方 健、鈴木章生、辻 恵子、野口 実、花上嘉成、
平野直樹、増田英子、山田 徹、若林 功

(10人)

7 従業員

今期末における従業員数は、24人です。

令和6年6月

公益財団法人 メトロ文化財団

令和5年度

附属明細書（事業報告関係）

（令和5年4月1日～令和6年3月31日まで）

1 事業報告の内容を補足する重要な事項

記載事項はありません。

以上